

目 的

宇都宮工業高等学校は果敢に挑戦する強い宇工を目指し、コネクテッドシティプロジェクトと題し、宇都宮未来都市構想～宇都宮工業高等学校版～を掲げました。

現在、日本だけではなく世界各地で、コネクテッドシティやスマートシティと銘打ち、さまざまな構想が発表されています。しかし、これらは各市や企業によるものがほとんどです。そこで、全国の工業高等学校に先駆けて、このコネクテッドシティ計画を提案しました。

建築デザイン系では、雀宮駅に交通・公共・商業・住居空間が一体となった複合施設や既存建築物を生かした新たな公共施設、広場などのパブリックスペースの提案を行い、未来都市の模型製作に取り組んでいます。



グループディスカッションの様子(2021年度)



イメージスケッチの一部(2021年度)

スケジュール

2021 システム×デザイン思考を活用した建築設計

- ・予備調査
ネットや文献、フィールドワークによる調査
- ・アイデアの創出、コンセプトの決定
KJ法を中心としたブレストやブラッシュアップ
- ・エスキス、図面やスケッチ作成
イメージを図面やスケッチで見える化
- ・未来都市のスタディ模型の製作
雀宮駅を中心とした未来都市の姿を構想

2022 未来の雀宮駅複合施設の模型製作

- ・未来の雀宮駅の具体化
 - 2023 模型をもとに未来都市の姿や都市の中の生活の様子を具体的にイメージ
 - ・模型製作(縮尺1/300)
- 模型による未来の都市や生活の表現



イメージスケッチの様子(2022年度)

経 過

- ・雀宮地区の特色や課題などを整理し、地域の魅力を探し出すことで、私たちが求める未来のまちづくりの方針をまとめた。
- ・雀宮地区の特色や課題などを整理し、地域の魅力を探し出すことで、既存の施設や地域の自然環境、コミュニティの有効利用や特色などを考え、未来のまちづくりのアイデアや具体的な姿を創造した。
- ・本校環境建設系と共同で交通の拠点となるJR雀宮駅を中心とした新たな未来都市の姿について検討を行った。



コンセプト図



フィールドワークの様子



エスキス作業



スタディ模型製作



1/300 縮尺模型の製作の様子(2022年度)

これまでの成果および今後の見通し

2021年度はコネクテッドシティやスマートシティなどについて理解を深め、私たちが求める未来都市の姿を創造することができた。2022年度は、前年度の研究成果を継承して研究を進めた。「シームレスシティ」という独自のコンセプトのもと、雀宮駅を中心とした複合施設を提案し、模型として見える化している。今後もより具体的な未来都市の姿と都市生活をイメージし、表現する過程の中で生徒の創造性を養いたい。